

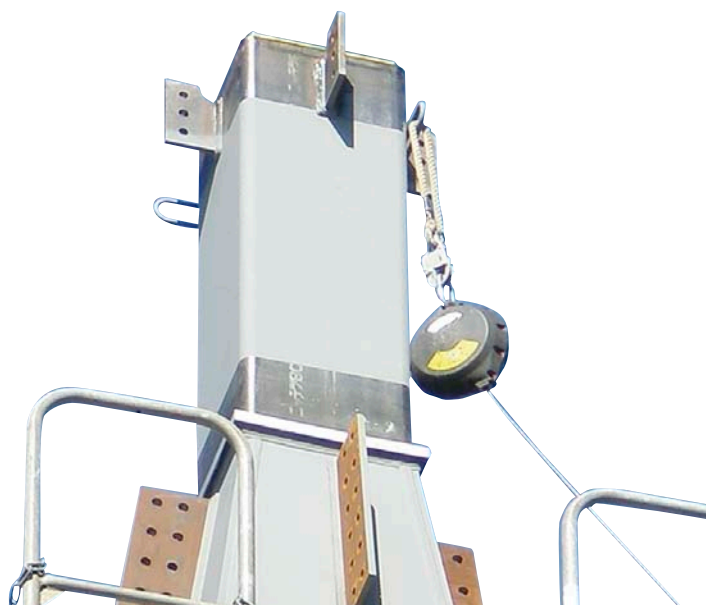
短い落下距離で墜落が阻止されます。  
製品自体が衝撃を緩和する構造になっているので、  
人体に受けるショックが小さくて安全です。

リース 販売

## 安全ブロック

### 特長

- 安全ブロックの使用に際しては、普通の安全帯より安全性が高い落下傘式ベルトUS-7型をお勧めします。
- 万一墜落が起きた時、ワイヤーロープが構造物の鋭角部に直接接触していると切断されることがあります。これ为了避免するため、使用状態には十分注意して下さい。



### 引き寄せロープ規格寸法

長さ(m)	色
7.5	青
15	黄
25	赤

※安全ブロックのリースの際は、引き寄せロープは別売りとなります。

### ●関東地域扱い



### ●その他地域扱い



### 規格寸法及び性能

規格寸法及び性能		[関東地域扱い]		
長さ(m)		7.5	15	25
型式		KP-7.5	KP-15	KP-25
寸法:横×縦×厚さ(mm)		198×262×90	218×287×90	257×329×122
質量(kg)		4.5	6	9.2
ワイヤーロープ	種別	A3号(航空機用炭素鋼ワイヤー)		
	径(mm)	φ4		
最大使用質量(kg)		30~100		
停止距離(cm)		50~100		

※上記データは測定平均値で保証値ではありません。

### [その他地域扱い]

7.5	15	25
LB-7.5	LB-15	LB-25
183×231×89	244×284×107	270×326×119
3.7	6.4	10.3
A3号(航空機用ステンレスワイヤー)		
φ4.76		
85		
40以下		

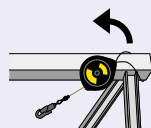
### 安全ブロック使用方法

#### [使用方法]

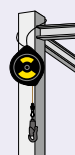
① 安全ブロックの安全フック部分に引き寄せロープを接続し、作動点検からスタートします。



② 鉄骨建方時に、地上で鉄骨柱最上部に安全ブロックを取り付けます。



③ 引き寄せロープを鉄骨柱に最初から添わせて伸ばしておき、その状態でそのまま鉄骨柱を立てます。



④ 引き寄せロープで安全フックを引き寄せ、安全フックを安全帯のD管に掛けて鉄骨柱を昇降します。



⑤ 安全フックが自動的に安全ブロック本体に収納されますので、両手が自由な状態で昇降できます。

